



## 「169のころ」

ある日のこと。ひな人形が作りたいと何人かの子どもたちが絵本を見ながら製作を始めていました。「こうしたら出来たよ！」とお友だちに教え合いながら、製作を進めていく中で、Hちゃんが「先生見て～！」と見せに来てくれました。

「可愛くできたね！」という「Yちゃんのもめっちゃ可愛いよ！」と友だちの作ったものを友だちがいないところでも素直にほめてあげる、認めてあげることが自然とできていることに、とても感動しました。

”折り紙と紙コップ” 同じ材料でも、子どもたちの個性あふれる色が出て、世界でひとつだけのひな人形が出来上がっていました。

担任をさせていただき丸3年が経とうとしますが、身体だけではなく心の成長を感じられる場面が多く、子どもたちに驚かされ、感動させられる毎日です。

あの小さかった子どもたちがもうすぐさくらぐみ。友だちの想いを認めてあげる、受け入れようとしてくれる、それいいね！と共感してくれる、困っている人がいたら寄り添ってあげる、やりたいことに向って夢中になれる、あきらめずに挑戦し続ける、キラリと光る心をたくさん持っている子どもたち。

さくらぐみでも、子どもたち一人ひとりの色が輝けますように。

### 【お知らせ】

令和4年度保護者会費より卒園記念として、アオギリと金柑とブルーベリー、計7本の木を寄贈していただきました。

3月14日（火）にさくらぐみさんと植樹をしました。こどもたちとともに大きくなっていくことができることと思います。有難うございました。

3月の口座振替日

3月30日（木）



先日、自然史博物館フィールドワークが行われ、年長の子どもたちと唐津の鏡山に登山しました。頂上で広がる青空に共鳴したかのように広がる紺碧の海。その海を見下ろしながら子どもたちは心ひとつに「ヤッホー!」と叫び、しりとりをしながら帰路につきました。高い木の間からこぼれる春の光が照らす山道をしばらく歩いていると、前方からかわいい歌声が。そっと耳を澄ませば、遠くから『島人ぬ宝』が聞こえてきたのです。その時、「ああ、これが全てだな。」と思いました。

今日、大好きなお家の人と登った山。大好きなお友だちと見下ろした海。この景色、温度、風、歌声全てが、温かな芯となり、やがてこの子どもたちの故郷に変わるだろう瞬間。

今月、さくら組さんが、武雄こども園を巣立ちます。私たちは、目に見えないけれど何か「大切なもの」を子どもたちに残すことができたでしょうか。子どもの世界にとっては、そう考えることすらおこがましいのかも知れません。

ただ、すぐ傍で、同じ時間を過ごしたこと。いつも傍で笑い、悲しみ、悩み、喜ぶ日々を重ねたこと。それが、いつの日か子どもを支える温かな芯となり、時には大きな壁となり悲しみから守ってくれるなら。そしてその芯が、子どもの故郷の一片となるなら。

そんな想いで、卒園後も私たちはさくら組さんをずっと見守っていきます。

「いつの日か この島を離れてく その日まで  
大切なものをもっと深く知っていたい  
それが島人ぬ宝」

保護者の皆様におかれましては1年間園へのご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。多くの保護者様からの温かいお言葉に励まされ、大きな力を頂き、職員一同教育・保育にまい進することができました。本当に有難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

